

第三種電気主任技術者 理論 過去問題集

目次

問題

令和 5 年度上期 実施試験 問題	3
令和 4 年度下期 実施試験 問題	27
令和 4 年度上期 実施試験 問題	47
令和 3 年度 実施試験 問題	67
令和 2 年度 実施試験 問題	91
令和元年度 実施試験 問題	113
平成 30 年度 実施試験 問題	135
平成 29 年度 実施試験 問題	158
平成 28 年度 実施試験 問題	180
平成 27 年度 実施試験 問題	202
平成 26 年度 実施試験 問題	228

※池田講師の解説は、動画講義をご覧ください。

本冊子に掲載している解説は、動画講義の解説とは異なる解き方を掲載している場合があります。

第三種電気主任技術者 理論 過去問題集

目次

解答解説

令和5年度上期 実施試験 解答解説	250
令和4年度下期 実施試験 解答解説	255
令和4年度上期 実施試験 解答解説	260
令和3年度 実施試験 解答解説	266
令和2年度 実施試験 解答解説	270
令和元年度 実施試験 解答解説	275
平成30年度 実施試験 解答解説	281
平成29年度 実施試験 解答解説	292
平成28年度 実施試験 解答解説	299
平成27年度 実施試験 解答解説	304
平成26年度 実施試験 解答解説	310

第 3 種

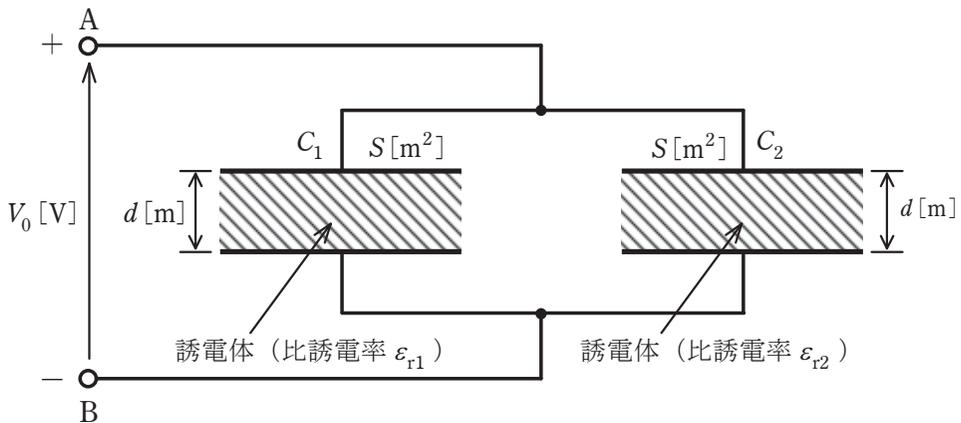
理 論

A問題 (配点は1問題当たり5点)

問1 電極板面積と電極板間隔が共に $S [\text{m}^2]$ と $d [\text{m}]$ で、一方は比誘電率が ϵ_{r1} の誘電体からなる平行平板コンデンサ C_1 と、他方は比誘電率が ϵ_{r2} の誘電体からなる平行平板コンデンサ C_2 がある。今、これらを図のように並列に接続し、端子 A, B 間に直流電圧 $V_0 [\text{V}]$ を加えた。このとき、コンデンサ C_1 の電極板間の電界の強さを $E_1 [\text{V/m}]$ 、電束密度を $D_1 [\text{C/m}^2]$ 、また、コンデンサ C_2 の電極板間の電界の強さを $E_2 [\text{V/m}]$ 、電束密度を $D_2 [\text{C/m}^2]$ とする。両コンデンサの電界の強さ $E_1 [\text{V/m}]$ と $E_2 [\text{V/m}]$ はそれぞれ $(ア)$ であり、電束密度 $D_1 [\text{C/m}^2]$ と $D_2 [\text{C/m}^2]$ はそれぞれ $(イ)$ である。したがって、コンデンサ C_1 に蓄えられる電荷を $Q_1 [\text{C}]$ 、コンデンサ C_2 に蓄えられる電荷を $Q_2 [\text{C}]$ とすると、それらはそれぞれ $(ウ)$ となる。

ただし、電極板の厚さ及びコンデンサの端効果は、無視できるものとする。また、真空の誘電率を $\epsilon_0 [\text{F/m}]$ とする。

上記の記述中の空白箇所(ア)~(ウ)に当てはまる式の組合せとして、正しいものを次の(1)~(5)のうちから一つ選べ。



	(ア)	(イ)	(ウ)
(1)	$E_1 = \frac{\varepsilon_{r1}}{d} V_0$	$D_1 = \frac{\varepsilon_{r1}}{d} S V_0$	$Q_1 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r1}}{d} S V_0$
	$E_2 = \frac{\varepsilon_{r2}}{d} V_0$	$D_2 = \frac{\varepsilon_{r2}}{d} S V_0$	$Q_2 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r2}}{d} S V_0$
(2)	$E_1 = \frac{\varepsilon_{r1}}{d} V_0$	$D_1 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r1}}{d} V_0$	$Q_1 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r1}}{d} S V_0$
	$E_2 = \frac{\varepsilon_{r2}}{d} V_0$	$D_2 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r2}}{d} V_0$	$Q_2 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r2}}{d} S V_0$
(3)	$E_1 = \frac{V_0}{d}$	$D_1 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r1}}{d} S V_0$	$Q_1 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r1}}{d} V_0$
	$E_2 = \frac{V_0}{d}$	$D_2 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r2}}{d} S V_0$	$Q_2 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r2}}{d} V_0$
(4)	$E_1 = \frac{V_0}{d}$	$D_1 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r1}}{d} V_0$	$Q_1 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r1}}{d} S V_0$
	$E_2 = \frac{V_0}{d}$	$D_2 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r2}}{d} V_0$	$Q_2 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r2}}{d} S V_0$
(5)	$E_1 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r1}}{d} S V_0$	$D_1 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r1}}{d} V_0$	$Q_1 = \frac{\varepsilon_0}{d} S V_0$
	$E_2 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r2}}{d} S V_0$	$D_2 = \frac{\varepsilon_0 \varepsilon_{r2}}{d} V_0$	$Q_2 = \frac{\varepsilon_0}{d} S V_0$

問2 静電界に関する次の記述のうち、誤っているものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

- (1) 媒質中に置かれた正電荷から出る電気力線の本数は、その電荷の大きさに比例し、媒質の誘電率に反比例する。
- (2) 電界中における電気力線は、相互に交差しない。
- (3) 電界中における電気力線は、等電位面と直交する。
- (4) 電界中のある点の電気力線の密度は、その点における電界の強さ(大きさ)を表す。
- (5) 電界中に置かれた導体内部の電界の強さ(大きさ)は、その導体表面の電界の強さ(大きさ)に等しい。

問3 磁気回路における磁気抵抗に関する次の記述のうち、誤っているものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

(1) 磁気抵抗は、次の式で表される。

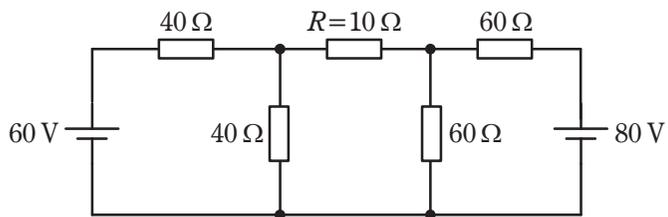
$$\text{磁気抵抗} = \frac{\text{起磁力}}{\text{磁束}}$$

- (2) 磁気抵抗は、磁路の断面積に比例する。
- (3) 磁気抵抗は、比透磁率に反比例する。
- (4) 磁気抵抗は、磁路の長さに比例する。
- (5) 磁気抵抗の単位は、 $[\text{H}^{-1}]$ である。

問4 磁界及び磁束に関する記述として、誤っているものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

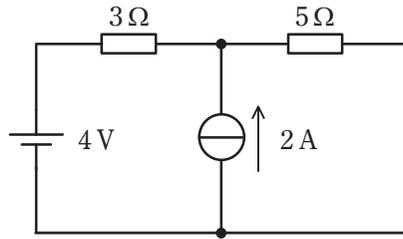
- (1) 1 m 当たりの巻数が N の無限に長いソレノイドに電流 I [A] を流すと、ソレノイドの内部には磁界 $H = NI$ [A/m] が生じる。磁界の大きさは、ソレノイドの寸法や内部に存在する物質の種類に影響されない。
- (2) 均一磁界中において、磁界の方向と直角に置かれた直線状導体に直流電流を流すと、導体には電流の大きさに比例した力が働く。
- (3) 2本の平行な直線状導体に反対向きの電流を流すと、導体には導体間距離の2乗に反比例した反発力が働く。
- (4) フレミングの左手の法則では、親指の向きが導体に働く力の向きを示す。
- (5) 磁気回路において、透磁率は電気回路の導電率に、磁束は電気回路の電流にそれぞれ対応する。

問5 図の直流回路において、抵抗 $R = 10 \Omega$ で消費される電力の値[W]として、最も近いものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。



- (1) 0.28 (2) 1.89 (3) 3.79 (4) 5.36 (5) 7.62

問6 図のような直流回路において、 3Ω の抵抗を流れる電流の値[A]として、最も近いものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。



(1) 0.35

(2) 0.45

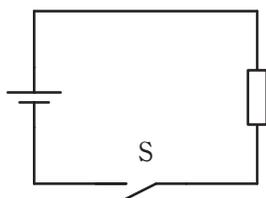
(3) 0.55

(4) 0.65

(5) 0.75

問7 図の回路において、スイッチSを閉じ、直流電源から金属製の抵抗に電流を流したとき、発熱により抵抗の温度が 120°C になった。スイッチSを閉じた直後に回路を流れる電流に比べ、抵抗の温度が 120°C になったときに回路を流れる電流は、どのように変化するか。最も近いものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

ただし、スイッチSを閉じた直後の抵抗の温度は 20°C とし、抵抗の温度係数は一定で $0.005^{\circ}\text{C}^{-1}$ とする。また、直流電源の起電力の大きさは温度によらず一定とし、直流電源の内部抵抗は無視できるものとする。



- (1) 変化しない (2) 50%増加 (3) 33%減少 (4) 50%減少 (5) 33%増加

問8 次の文章は、 RLC 直列共振回路に関する記述である。

R [Ω]の抵抗、インダクタンス L [H]のコイル、静電容量 C [F]のコンデンサを直列に接続した回路がある。

この回路に交流電圧を加え、その周波数を変化させると、特定の周波数 f_r

[Hz]のときに誘導性リアクタンス $= 2\pi f_r L$ [Ω]と容量性リアクタンス $= \frac{1}{2\pi f_r C}$

[Ω]の大きさが等しくなり、その作用が互いに打ち消し合って回路のインピーダンスが なり、 電流が流れるようになる。この現象を直列共振といい、このときの周波数 f_r [Hz]をその回路の共振周波数という。回路のリアクタンスは共振周波数 f_r [Hz]より低い周波数では となり、電圧より位相が 電流が流れる。また、共振周波数 f_r [Hz]より高い周波数では となり、電圧より位相が 電流が流れる。

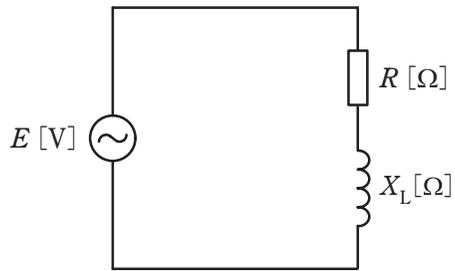
上記の記述中の空白箇所(ア)～(カ)に当てはまる組合せとして、正しいものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)
(1)	大きく	小さな	容量性	進んだ	誘導性	遅れた
(2)	小さく	大きな	誘導性	遅れた	容量性	進んだ
(3)	小さく	大きな	容量性	進んだ	誘導性	遅れた
(4)	大きく	小さな	誘導性	遅れた	容量性	進んだ
(5)	小さく	大きな	容量性	遅れた	誘導性	進んだ

問9 図のように、抵抗 R [Ω]と誘導性リアクタンス X_L [Ω]が直列に接続された交

流回路がある。 $\frac{R}{X_L} = \frac{1}{\sqrt{2}}$ の関係があるとき、この回路の力率 $\cos \phi$ の値として、

最も近いものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。



(1) 0.43

(2) 0.50

(3) 0.58

(4) 0.71

(5) 0.87

問 10 図 1 のように、インダクタンス $L=5\text{ H}$ のコイルに直流電流源 J が電流 i [mA] を供給している回路がある。電流 i [mA] は図 2 のような時間変化をしている。このとき、コイルの端子間に現れる電圧の大きさ $|v|$ の最大値 [V] として、最も近いものを次の (1) ~ (5) のうちから一つ選べ。

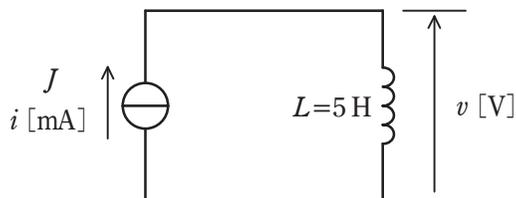


図 1

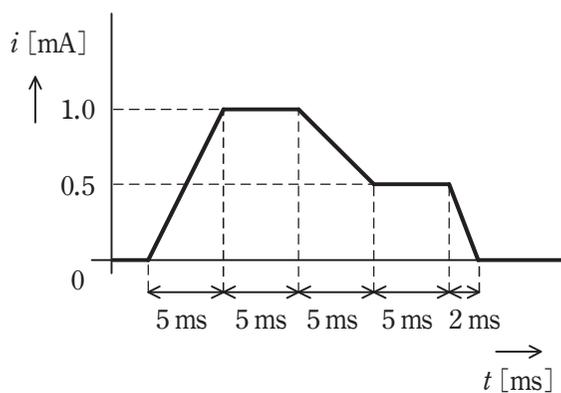


図 2

- (1) 0.25 (2) 0.5 (3) 1 (4) 1.25 (5) 1.5

問 11 次の文章は、図1及び図2に示す原理図を用いてホール素子の動作原理について述べたものである。

図1に示すように、p形半導体に直流電流 I [A] を流し、半導体の表面に対して垂直に下から上向きに磁束密度 B [T] の平等磁界を半導体かけると、半導体内の正孔は進路を曲げられ、電極①には (ア) 電荷、電極②には (イ) 電荷が分布し、半導体の内部に電界が生じる。また、図2のn形半導体の場合は、電界の方向はp形半導体の方向と (ウ) である。この電界により、電極①-②間にホール電圧 $V_H = R_H \times$ (エ) [V] が発生する。

ただし、 d [m] は半導体の厚さを示し、 R_H は比例定数 [m^3/C] である。

上記の記述中の空白箇所(ア)～(エ)に当てはまる組合せとして、正しいものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

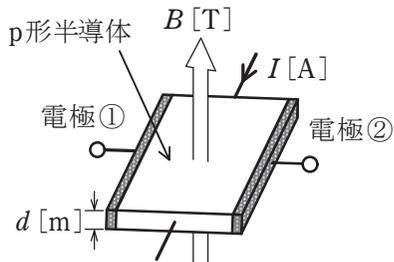


図1

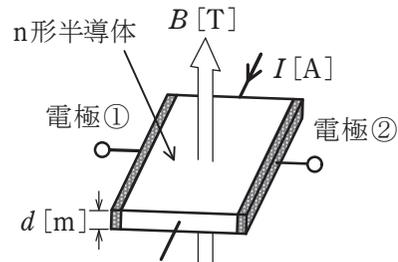


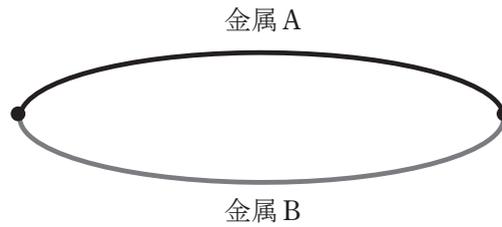
図2

令和 5 年度上期 理論 問題

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
(1)	負	正	同じ	$\frac{B}{Id}$
(2)	負	正	同じ	$\frac{Id}{B}$
(3)	正	負	同じ	$\frac{d}{BI}$
(4)	負	正	反対	$\frac{BI}{d}$
(5)	正	負	反対	$\frac{BI}{d}$

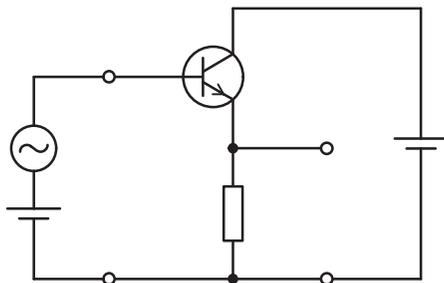
問12 図のように、異なる2種類の金属A, Bで一つの閉回路を作り、その二つの接合点を異なる温度に保てば、(ア)。この現象を(イ)効果という。

上記の記述中の空白箇所(ア)及び(イ)に当てはまる組合せとして、正しいものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。



	(ア)	(イ)
(1)	電流が流れる	ホール
(2)	抵抗が変化する	ホール
(3)	金属の長さが変化する	ゼーベック
(4)	電位差が生じる	ペルチエ
(5)	起電力が生じる	ゼーベック

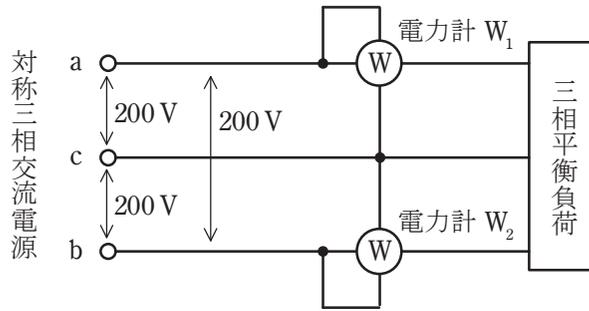
問 13 図のコレクタ接地増幅回路に関する記述として，誤っているものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。



- (1) 電圧増幅度は約1である。
- (2) 入力インピーダンスが大きい。
- (3) 出力インピーダンスが小さい。
- (4) 緩衝増幅器として使用されることがある。
- (5) 増幅回路内部で発生するひずみが大きい。

問 14 図のように、線間電圧 200 V の対称三相交流電源から三相平衡負荷に供給する電力を二電力計法で測定する。2 台の電力計 W_1 及び W_2 を正しく接続したところ、電力計 W_2 の指針が逆振れを起こした。電力計 W_2 の電圧端子の極性を反転して接続した後、2 台の電力計の指示値は、電力計 W_1 が 490 W、電力計 W_2 が 25 W であった。このときの対称三相交流電源が三相平衡負荷に供給する電力の値 [W] として、最も近いものを次の (1)～(5) のうちから一つ選べ。

ただし、三相交流電源の相回転は a, b, c の順とし、電力計の電力損失は無視できるものとする。



(1) 25

(2) 258

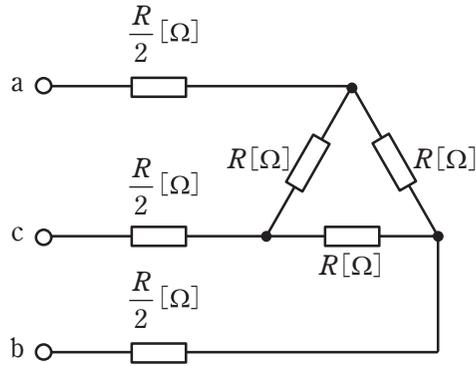
(3) 465

(4) 490

(5) 515

B 問題 (配点は 1 問題当たり (a) 5 点, (b) 5 点, 計 10 点)

問 15 図の平衡三相回路について, 次の(a)及び(b)の間に答えよ。



(a) 端子 a, c に 100 V の単相交流電源を接続したところ, 回路の消費電力は 200 W であった。抵抗 R の値[Ω]として, 最も近いものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

- (1) 0.30 (2) 30 (3) 33 (4) 50 (5) 83

(b) 端子 a, b, c に線間電圧 200 V の対称三相交流電源を接続したときの全消費電力の値[kW]として, 最も近いものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

- (1) 0.48 (2) 0.80 (3) 1.2 (4) 1.6 (5) 4.0